

馴染のない組織であるため、センター職員も周りの関係者もさまざまな面で戸惑うことが多かった。心のケアセンター同士のネットワークが形成され、経験とノウハウが相互に共有された。

4. 人材育成

(1) 震災心のケア交流会みやぎ（表5）

「震災心のケア交流会みやぎ（以下、交流会）」は、2011年に仙台市内で「一般社団法人震災こころのケアネットワークみやぎ」の主催で開催し、第2回から当センターとの共催となった。発災直後から働き詰めの自治体職員および支援者にリラックスする機会を提供することと各被災自治体での取り組みなどの情報共有などを目的にした。第4回は石巻市で開催し、その後南三陸町や気仙沼市などで開催するなど地域の課題に沿った取り組みとなった。

2017年度から、今後の地域精神保健福祉の在りようを考える「みやぎ心のケアフォーラム」が開催されることとなり、交流会はフォーラムへ統合となった。

また、石巻地域センターでは、第13回から石巻圏域の支援団体で組織した実行委員会で交流会を企画・運営し、石巻圏域の支援者の交流を主眼に2017年度も開催した。

表5 震災心のケア交流会みやぎ実施一覧

回	実施／会場	テーマ・内容	参加者数
1	2011年7月2日 (ハーネル仙台)	(1) プレ交流会（名刺交換会） (2) 報告会 杓沢 はつ子氏（石巻市） 工藤 初恵氏（南三陸町） 田口 ひろみ氏（山元町 工房地球村） 宮城 秀晃氏（石巻市 宮城クリニック） (3) 情報交換会（懇親会）	
2	2011年11月12日 (ハーネル仙台)	交流会テーマ これからのみやぎの中長期支援を考える (1) 報告会（石巻市、南三陸町、山元町） (2) シンポジウム ・新潟こころのケアセンターからの経験 ・みやぎ心のケアセンターの構想と準備状況 ・パネルディスカッション	
3	2012年11月10日 (長陵会館)	交流会テーマ 震災から1年8カ月～被災地の現状と課題～ (1) 講演 震災から1年8カ月～被災地の現状と課題～ 講師 福地 成（みやぎ心のケアセンター） (2) 活動報告 ・ジャパンプラットフォーム ・からころステーション ・JOCA ・Tree Seed	60
4	2013年3月1日 石巻グランドホテル	交流会テーマ 被災者支援の今とこれからを語ろう (1) 分科会（高齢者支援、子ども支援、障がい者支援） (2) 講演 被災者支援のこれから～新潟県における実践を通して～ 講師 本間 寛子氏（新潟こころのケアセンター） (3) 交流会	83
5	2013年7月12日 気仙沼プラザホテル	交流会テーマ 震災後の活動を振り返る～より良い関係づくりをめざして～ (1) 基調講演 震災後の活動を振り返る 講師 連記 成史 (みやぎ心のケアセンター気仙沼地域センター長・三峰病院長) (2) 講義 震災後のメンタルヘルス 講師 小原 聡子氏（宮城県精神保健福祉センター技術次長） (3) 分科会	80
6	2013年11月27日 石巻グランドホテル	交流会テーマ つなごう未来へ、つくろう未来を (1) シンポジウム 被災者支援のこれから 高橋 幸男氏（エスポアール出雲クリニック院長） 森川 すいめい氏（陽和病院地域支援室） 今野 和則氏（石巻支援学校長） (2) 交流会	82

第Ⅰ章

復興までの道のり

第Ⅱ章

当センターを立ち上げるまで

第Ⅲ章

全体の事業展開について

第Ⅳ章

業務統計報告
事業項目別の経年活動報告

第Ⅴ章

地域センターごとの活動報告

第Ⅵ章

調査研究報告および他誌掲載原稿

第Ⅶ章

寄稿

資料

7	2014年1月16日 TKPガーデンシティ仙台 勾当台	交流会テーマ 支援の縁を円く (1) ワークショップ (2) 講演 復興住宅と支援の在り方～二つの震災の経験から～ 講師 本間 道雄氏 (新潟県精神保健福祉協会小千谷地域こころのケアセンター) 講師 加藤 寛氏 (兵庫県こころのケアセンター)	81
8	2014年9月5日 南三陸ホテル観洋	交流会テーマ 明日に向かう支援 (1) グループワーク (2) 講演 新たなコミュニティづくりに向けて ～住民と支援者の心のケア～ 講師 金 吉晴氏 (国立精神・神経医療研究センター)	74
9	2014年11月28日 TKPガーデンシティ仙台 勾当台	交流会テーマ 支援の縁を円く (1) 講演 地域コミュニティの再生 ～心に優しい町は、きっと住みやすい町だ～ 講師 浜上 章氏 (宮城県サポートセンター支援事務所) (2) グループワーク (3) ディスカッション	49
10	2014年12月12日 石巻グランドホテル	テーマ 明日へ向かう人・力 (1) 講演 復興期における地域住民と支援者のメンタルヘルス 講師 松本 和紀 (みやぎ心のケアセンター・東北大学大学院医学系研究科予防精神医学寄附講座) (2) グループワーク これから支援してみたいと思うことを語り合しましょう (3) からだを動かして交流しましょう	82
11	2015年11月22日 岩沼市総合福祉センター あいプラザ	交流会テーマ 支援の縁を円く (1) 話題提供 (冒険遊び場、ボラリス、名取市) (2) 講演 地域の力と人々の絆で守る心の健康 講師 松本 和紀 (みやぎ心のケアセンター・東北大学大学院予防精神医学寄附講座)	22
12	2015年12月12日 気仙沼市 ゲストハウスアーバン	交流会テーマ 誰もが誰かを支えている～このまちの資源は“人”と“人とのつながり”だ～ (1) 活動紹介 熊谷 光二氏 (日本の福祉を考える気仙沼若手の会) 神林 俊一氏 (プレイワーカーズ) 成宮 崇史氏 (NPO法人底上げ) 高橋 吏佳氏 (南三陸町社会福祉協議会) (2) グループワーク	48
13	2016年3月9日 石巻グランドホテル	交流会テーマ 震災から5年、今とこれからを語ろう (1) シンポジウム 地域で活動している団体の活動を知り、連携を図りましょう ・にじいろクレヨン・TEDIC・坊主喫茶・法テラス東松島 (2) グループワーク	78
14	2017年1月17日 TKPガーデンシティ仙台	交流会テーマ これからもこれまでもつながっていく (1) ワールドカフェ 孤立を防ぐ地域づくり (2) 総評と講話 地域を支える 講師 小高 晃 (みやぎ心のケアセンター)	53
15	2017年2月18日 南三陸町戸倉公民館	交流会テーマ このまちの資源は「人」と「人とのつながり」だ (1) 講演 新潟中越地震における復興期の活動について 講師 本間 寛子氏 (新潟県精神保健福祉協会) (2) 活動紹介 (まちづくり支援の立場、子ども支援の立場、高齢者支援の立場) (3) グループワーク	31
16	2017年3月17日 石巻市河北総合センター ビッグバン	交流会テーマ 癒し力 (いやしりょく) (1) 記念講演「支援者のストレスケア」 講師 高橋 祥友氏 (筑波大学医学医療系災害・地域精神医学) (2) 分科会 (コミュニティについて考える、坊主喫茶、ハンドマッサージ講座、ヨーガ講座)	103
17	2018年3月1日 東松島市 矢本東市民センター	交流会テーマ 癒し力Ⅱ (1) 記念講演 支援者の心の健康～感情労働の視点から～ 講師 前田 正治氏 (福島県立医科大学医学部 災害こころの医学講座) (2) 分科会 (前田先生と語ろう、ハンドマッサージ講座、ヨーガ講座、お疲れ度チェック&らくらくストレッチ)	70

(2) アルコール依存症専門治療病院との連携について

①目的

東日本大震災によって特に増加が懸念されたアルコール問題について、支援に必要な知識と実践的なスキルの習得を目的として実施した。治療プログラムを理解することによって、地域での効果的な支援に活かすとともに、研修受講後の関係機関のネットワーク構築、継続的なフォローアップ体制を維持することにより、支援力の全県的な底上げを目的とした。

②内容

宮城県内において、アルコール依存症の専門的な治療を実施している医療法人東北会東北会病院（以下、東北会病院）と委託契約を結び、病院内で実施される依存症治療プログラムや自助グループおよび回復施設の見学などを盛り込んだ内容とし、数日間の日程でアルコール関連問題実地研修（以下、実地研修）を実施した（表6）。加えて、受講後のフォローアップとしてアルコール関連問題事例検討研修（以下、事例検討研修という）を年1回実施した（表7-1、7-2）。また、当センター地域支援課が実施してきた節酒に関する研修を引き継ぎ、宮城県精神保健福祉センターと共催で、二次予防支援のスキルアップを目指す研修を年1回開催した。

表6 東北会病院実地研修プログラム

	午 前		午 後	
1日目	オリエンテーション		グループセラピー	当事者メッセージ 事例検討
2日目	・教育ビデオ鑑賞 ・アルコール依存症外来患者および家族のグループセラピー ・ビギナープログラム	院内断酒会	医師によるアルコール依存症心理教育プログラム	・家族グループ ・院内断酒会
3日目	・アルコールの入院治療 ・離脱期の看護	被災地におけるアルコール簡易介入法活用について	アルコール簡易介入の実践（プリーフ・インターベンション）	地域アルコールケースのアセスメントについて 事例検討
4日目	アルコール病棟の認知行動療法		薬物依存症リハビリ施設 仙台タルク見学	トラウマとアディクション 関連ビデオ視聴
5日目	新患インテーク：外来診察（外来部） 地域活動支援センター等地域関係施設見学（地域支援課）		アルコール病棟のグループセラピー	まとめ
6日目	※希望者のみ 医師による心理教育プログラム（ワナクリック）		※2014年度より3日間のプログラムに変更し実施	

表7-1 2018年度アルコール関連問題事例検討研修プログラム

午前	講演	「SBIRTSの活用と普及促進について」 ～受診後の患者支援に関わるモデル事業の構築のために～ 講師：医療法人東布辻本クリニック 理事長 辻本 士郎 氏
	ワークショップ（ロールプレイ）	「医師が演出する断酒会員による患者と自助グループ会員との出会いの場と機会」 演者：宮城県断酒会 会員の方々
	報告	「SBIRTSへの自助グループの対応」 ～厚労省の施策の概説とSBIRTSに対する断酒会の対応について～ 報告者：（公社）全日本断酒連盟 事務局長 大槻 元 氏
午後	①事例検討 ②意見交換	①事例を通してこれまでの支援のあり方を振り返る ②各地域における取組について 講師：医療法人東北会 東北会病院 リカバリー支援部長 鈴木 俊博 氏 医療法人東北会 東北会病院 地域支援課 三浦 敦子 氏